



平成二十四年二月二日
 野田工業(株)研究会の活動で、安全衛生協会の幹事と共に川崎大師に安全祈願して参りました。

【参加者】
 関口(嘉) 関口(浩) 神尾 中田
 田村(賢) 新井 今井
 以上七名



↑住吉屋 名物葛餅
うまし!!!!



《今号の主な内容》

- P① 安全祈願
- P② 登録保温保冷
- P③ 熱絶縁施工・建設マスター
- P④ 連絡帳



発行

野田工業株式会社

東京都中央区銀座6-6-19

花菱ビル5F

TEL: 03-3572-1866

FAX: 03-3575-0420

登録保温保冷

基幹技能者

基幹技能者制度とは、建設現場における施工を中心的に担う技術に優れた技術者を重点的に確保・育成することを目的とした制度で、平成 20 年度から国土交通大臣の登録講習制度として位置付けられました。

国土交通大臣の登録を受けた実施機関が行なう登録基幹技能者講習を修了した者は、登録基幹技能者として経営事項審査において加点評価の対象となります。

日本保温保冷工業協会では、平成 21 年 11 月に基幹技能者講習実施機関として国土交通大臣の登録 (No.24) を受けて以来、多くの登録保温保冷基幹技能者を育成しております。登録講習は今後も毎年 2~3 回の予定で全国各地地区での開催を計画しており、長期的には、全国に登録保温保冷基幹技能者 1500 名の確保を目指しております。



修了証

シール

登録保温保冷基幹技能者講習の概要

①受講資格

受講者は次の 2 つの条件を満たしていることが必要です。

- ① 熱絶縁工事における保温保冷施工の経験が 10 年以上で、そのうち職長としての実務経験が 3 年以上であること。
- ② 1 級熱絶縁技能士 (保温保冷工事作業) の資格を有すること。

②講習期間

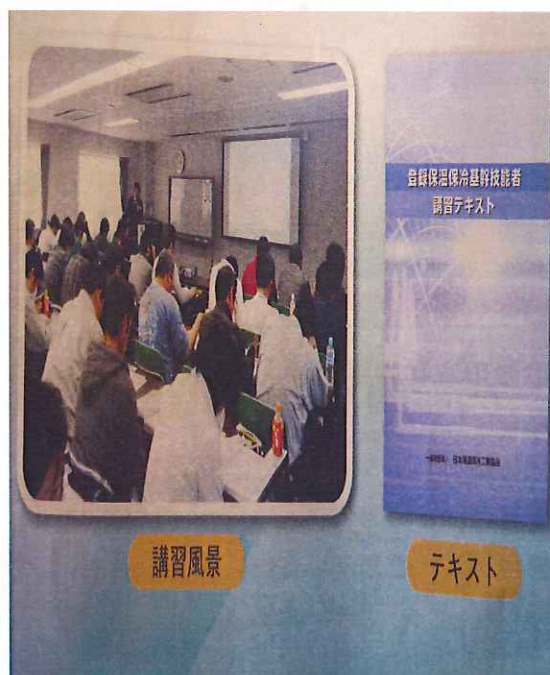
講習期間は 3 日間とし、3 日目の講習修了後に試験を実施する。

③講習カリキュラム

- ・ 建設技能者の労働環境
- ・ 基幹技能者の役割と業務
- ・ 施工管理、工程管理、品質管理、労務資材管理、原価管理、安全衛生管理
- ・ 施工 (対象設備、材料、施工法)
- ・ 最近の技術動向と環境問題
- ・ OJT による人材育成

④修了証の交付

講習を受講し、試験に合格した者には日本保温保冷工業協会から修了証が発行されます。



講習風景

テキスト

熱絶縁施工技能士

熱絶縁施工技能士とは、職業能力開発促進法に基づいた国家検定制度により実施される技能検定（実技及び学科）試験に合格した技能者へ与えられる資格で、1 級・2 級があります。

日本保温保冷工業協会では、都道府県職業能力開発協会からの委嘱を受けて、実技試験の運営・実施を全国各地で行なっています。

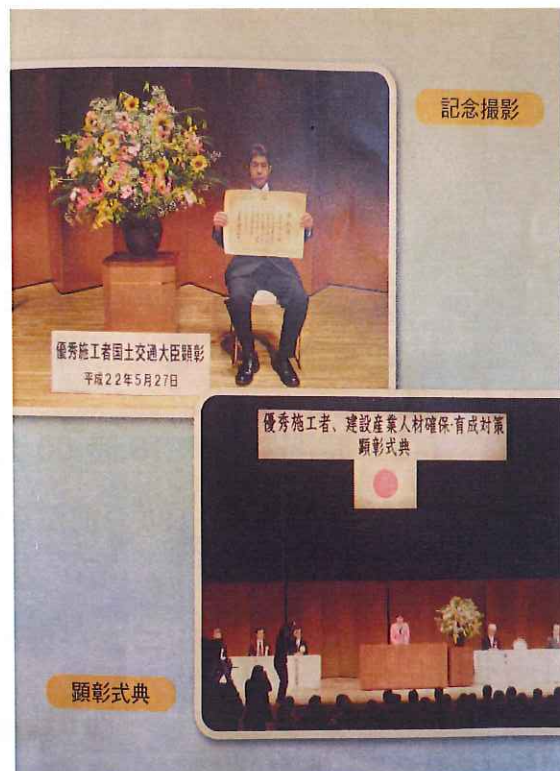
最近の調査では、就労している技能者のうち日本保温保冷工業協会・会員会社傘下の熱絶縁施工技能士数は、1 級で約 3000 名、2 級で約 650 名となっています。



建設マスター

建設マスターとは「建設現場において工事施工に直接従事し、現役として活躍している建設技能者のうち、特に技能・技術及び人格に優れ、後進の指導・育成により建設の質の維持向上に貢献できる者」という要件を満たす対象者を業界団体・都道府県及び地方整備局が推薦し、優秀施工者国土交通大臣顕彰審査委員会によるもので、平成 4 年度に創設された制度です。

日本保温保冷工業協会としては、平成 10 年度から熱絶縁施工・保温保冷工事に従事する優秀技能者の推薦を開始し、現在までに多くの建設マスターを誕生させております。



連絡帳



【インフルエンザの症状発症で A 香港型がピーク】

2012 年 2 月で、インフルエンザの症状を発症した患者数などから、流行がピークに達しています。今年のインフルエンザの症状の特徴は、感染症情報センターによる報告から A 香港型であることがわかりました。9 割が A 香港型インフルエンザで、この症状の傾向は、インフルエンザが流行した当初から変わっていません。

多くの人が集まるところでは、少なからずインフルエンザのウィルスがある程度の割合で存在している可能性が高く、初期症状があらわれる前の潜伏期間や、熱が下がった後の数日間は、一見普通の状態であるが、インフルエンザのウィルスは体内に存在し、咳、くしゃみ、会話などを通じて空気へ飛散します。2012 年のインフルエンザの症状発症状況のもうひとつの特徴は、子供や幼児への症状発症割合が高いことです。他の風邪に比べ、**発熱のほか頭痛、全身倦怠感、筋関節痛などの全身症状がより顕著**であることが特徴です。約 38～40℃ の熱が 2～5 日間ほど続き、熱が下がり始めると咳、鼻汁などが目立つようになります。**解熱してからさらに 3 日間は他人へ感染する可能性があるので注意が必要です。**

毎年数十人以上の小児がインフルエンザで死亡していますが、その多くが脳炎、脳症によるものです。脳症の起こるメカニズムは未だ解明されていませんが、インフルエンザが馬鹿にしてはいけない病気であることは確かです。

今後、まだまだ流行は継続されると思われます。みなさんも予防対策などをして気をつけて下さい。

職長会のお知らせ

【 日時 】 平成 24 年 3 月 21 日

【 時間 】 18 時 00 分

(30 分前から会場に入れますのでお早めにお越し下さい)

【 場所 】 ニュー新橋ビル 地下 2F ニュー新橋ホール